

大会テーマ

職業リハビリテーションにおける 「本人中心」を問い直す

日本職業リハビリテーション学会

第51回 島根大会

近年、リカバリーという概念が国際的に共有されてきています。就労は、社会参加を通じて有意義な活動の場を提供し、自立を促し、確かなリカバリーの足がかりを与えてくれます。職業リハビリテーションがさらに発展し、当事者のリカバリーのより確かな推進力となるために、「本人中心」に焦点を当てながら、専門家、企業、そして当事者とともに、ぜひ対面の議論を展開しましょう。

会 期：2024年8月23日（金） 24日（土）

会 場：松江テルサ（島根県松江市朝日町478-18）

大会長：林 輝男（社会医療法人清和会 理事長）

定 員：300名（先着順）

内 容：基調講演、基調シンポジウム、
大会企画シンポジウム、学会企画シンポジウム、
大会企画ワークショップ、自主ワークショップ、
口頭発表、ポスター発表、研修基礎講座、情報交換会

申 込：3月29日（金）開始（大会ホームページより）



< 松江テルサ：アクセス情報 >

JR松江駅北口：徒歩1分 出雲縁結び空港：連絡バス約35分

松江中央ランプ：車10分 米子鬼太郎空港：連絡バス約45分

大会ホームページ



<https://www.shokuriha51.jp/index.html>

主なプログラム（予定）

23日（金）	ホール	各会議室
10時～12時	—	研修基礎講座A・B・C
13時～	開会式	—
13時10分～14時10分	<p style="text-align: center;"><u>基調講演</u> 「再考『本人中心』～IPS伴走型個別就労支援の実践をもとに」 大会長 林 輝男</p>	—
14時20分～16時20分	<p style="text-align: center;"><u>基調シンポジウム</u> 「職業リハビリテーションにおける『本人中心』を問い直す」 朝日 雅也（埼玉県立大学） 中川 真弓（社会福祉法人ふらっと） 林 輝男（社会医療法人清和会） 調整中</p>	口頭発表
16時30分～17時30分	学会総会	
17時40分～19時40分	—	情報交換会（交流会）
24日（土）	ホール	各会議室
9時～10時30分	<p style="text-align: center;"><u>国際委員会主催ワークショップ</u> 「米国における自己決定支援に基づく移行支援の実践」 萩原 真由美（サンフランシスコ州立大学） 山口 明乙香（高松大学） 前原 和明（秋田大学）</p>	<p style="text-align: center;"><u>大会企画ワークショップ</u> 「地方における就労移行支援の実践」 ・ 口頭発表</p>
10時40分～12時20分	<p style="text-align: center;"><u>政策委員会主催シンポジウム</u> 「障害者雇用・就労支援の人材確保と育成～国が示す研修体系の全体像と資格化への道筋」 厚生労働省（予定） 國崎 順子（一般社団法人Bridge） 小川 浩（大妻女子大学）</p>	<p style="text-align: center;"><u>大会企画ワークショップ</u> 「特別支援教育における進路指導と移行支援の実践」 ・ 自主ワークショップ</p>
	—	ポスター発表
13時10分～14時40分	<p style="text-align: center;"><u>大会企画ワークショップ</u> 「IPS伴走型個別就労支援の基礎と実際」</p>	自主ワークショップ
14時50分～16時30分	<p style="text-align: center;"><u>大会企画シンポジウム</u> 「どう活かす！？就労選択支援」 厚生労働省（予定） 倉知 延章（一般社団法人福岡IPS普及協会） 星明 聡志（社会福祉法人北摂杉の子） 前原 和明（秋田大学） 青山 貴彦（社会福祉法人桑友）</p>	<p style="text-align: center;"><u>大会企画ワークショップ</u> ・ 自主ワークショップ</p>
16時30分～	閉会式	—

参加費

	大会		研修基礎講座		情報交換会	
	事前 (7/16まで)	当日	事前 (7/16まで)	当日	事前 (7/16まで)	当日
会員	3,000円	4,000円	無料	無料	4,000円	—
非会員	4,000円	5,000円	1,500円	1,500円	4,000円	—
学生	1,500円	1,500円	(非会員の場合) 1,500円	(非会員の場合) 1,500円	4,000円	—